

OPEN? → YES
NO



Portfolio
KUDO HIROYA

目次

一、マイロゴマーク 一頁

二、名刺 四頁

三、岩手観光ポスター 八頁

四、自分雑誌広告 十二頁

あとがき 十六頁

一、マイロゴマーク

そのモノを端的に表すロゴマーク。
せつかく自分のロゴを作るなら、
自分が死ぬまで使えるロゴを作りたい・・・

100年先までつなげ、マイロゴマーク

今回のマイロゴマークを作成するにあたり二つのコンセプトを立てた

一つは「私が死ぬまで使えるロゴ」
もう一つは「繋がり」

この二つの意図を踏まえ実際に作成したものが右になる
ヒントにしたのは「家紋」

日本古来からある家紋は、
シンプルかつモノクロでも端整でオリジナリティ溢れている

モチーフは繋がりというところからの連想で「手」
握手の手、岩手県民の手

これをなるべく抽象化した結果、利き手である右手の指五本を模した形となった
これを岩手県の形と同じようになるよう同じようになるよう配置した。

なおロゴタイプは名前、タグラインは就職希望の職種に時の就いた時の気持ちを込めた

制作時間：四時間半

使用ソフト：Illustrator

マイロゴマーク



シンボルマーク

タグライン



カラー



二、 名刺

社会人のマストアイテムである名刺
 時には自分の分身となる事もある
 名刺交換の時のから好印象を与えたい！

マイロゴマーク 試作集

ロゴタイプとタグラインの入替



タグライン 2 行目のインデントをより右へ



分割部分の入替



ロゴタイプを別のフォントで



タグラインの候補

- ・誰かとともに、誰かのために
- ・この地とともに、あなたとともに
- ・いまを生きる、ともにここで
- ・つなぎ、つなぐ
- ・いつかの指標になれるなら

名刺を見て顔を思い出せるように!

制作時間：一時間半
使用ソフト：Illustrator

という形で読みやすさとインパクトの両立を狙った裏面には前項のマイロゴを入れ、両面で飽きのこないデザインになったかと思う

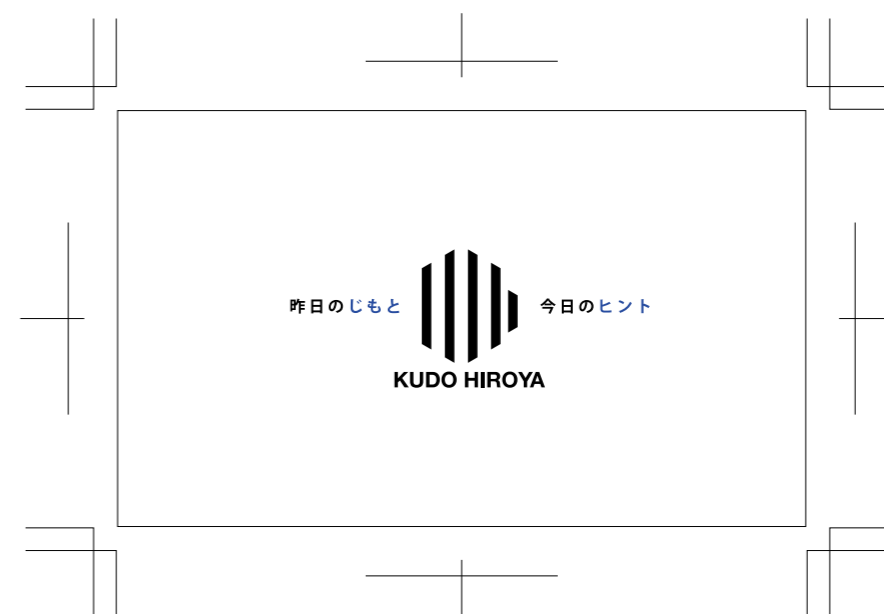
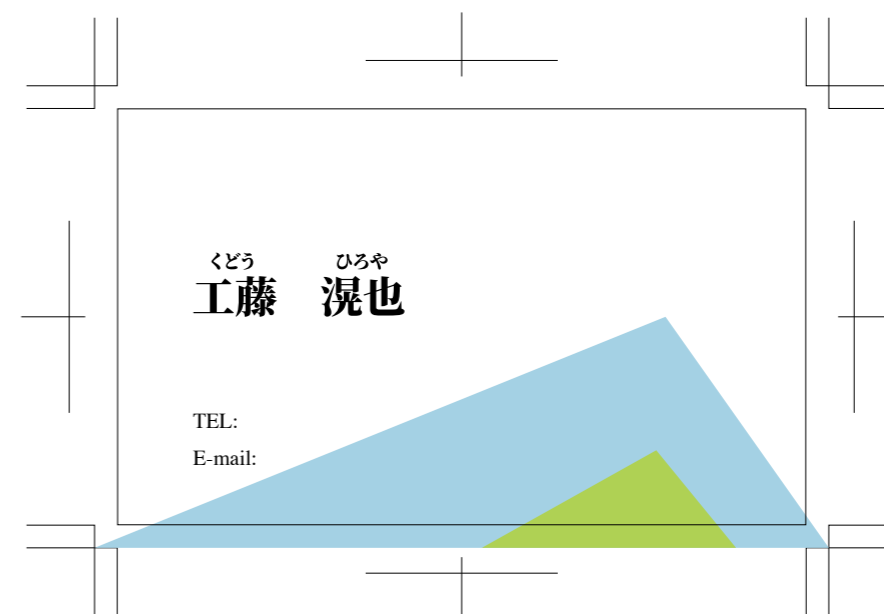
「多色刷り」「ふりがなを入れる」

また社会人時代の経験から

- ・初見の方だと名前が読めない
- ・連絡先や名前の確認など、後々見返す事も多かった

という二点を踏まえて

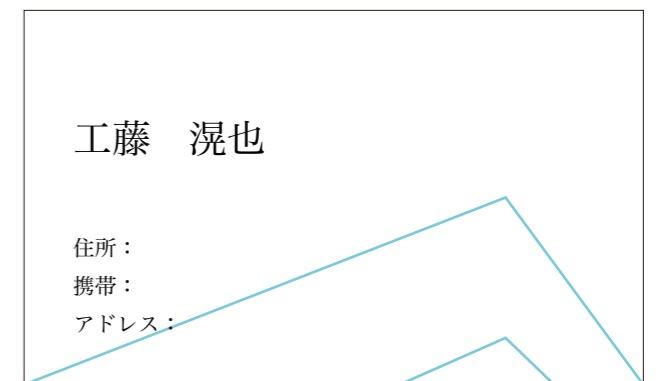
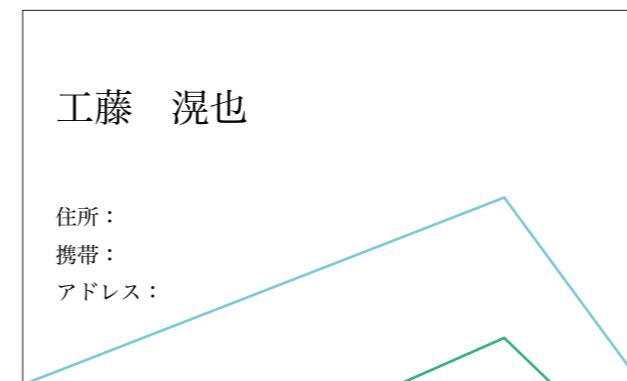
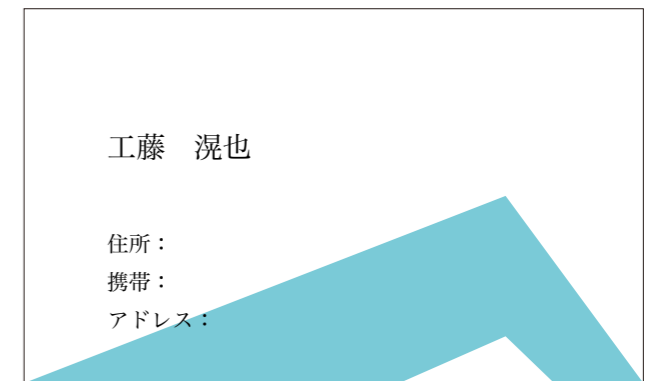
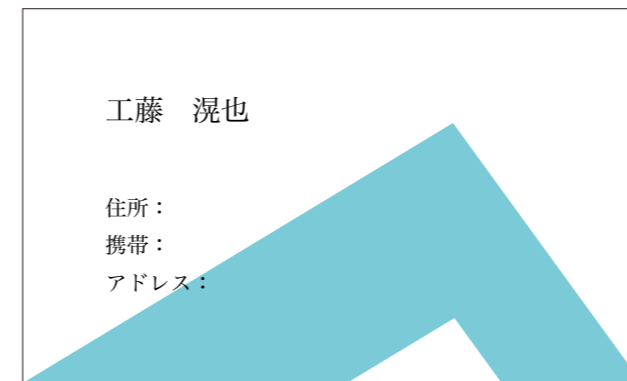
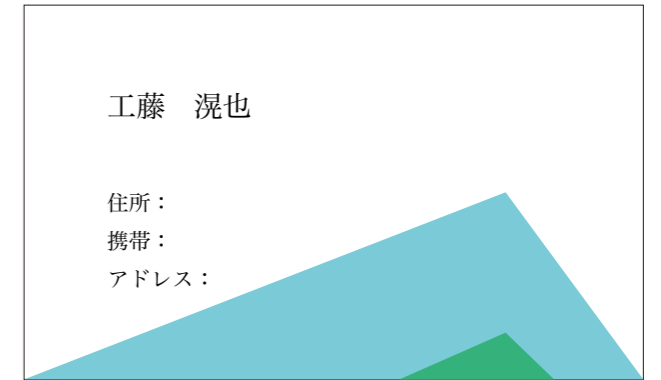
名刺というと一般的には初対面の方にお渡しするのがメインと考え、オシャレかつ仕事が出来る様な雰囲気の名刺を目指した



三、岩手観光ポスター

課題の一つ目である岩手県の観光ポスター
 どうやったら岩手の魅力を伝えられるか
 いや、まず見てもらえるのか・・・

名刺 試作集



こんなにいい場所になぜこない？

コンセプトは見出しの通り

私が思うに都会との差は「娯楽施設の数くらい」だと思う
確かに某ネズミリゾートや国際的なスタジオ JAPAN はない
だけど、飯はどこで食べても美味しい空気がいい、何より人が暖かい
加えて世界遺産や風光明媚な景色・自然がある

そんな岩手を「インスタグラムなど SNS で話題になるとするなら」という視点から

「絵になる様な『映える』景色」

を前面に出す形を取った。

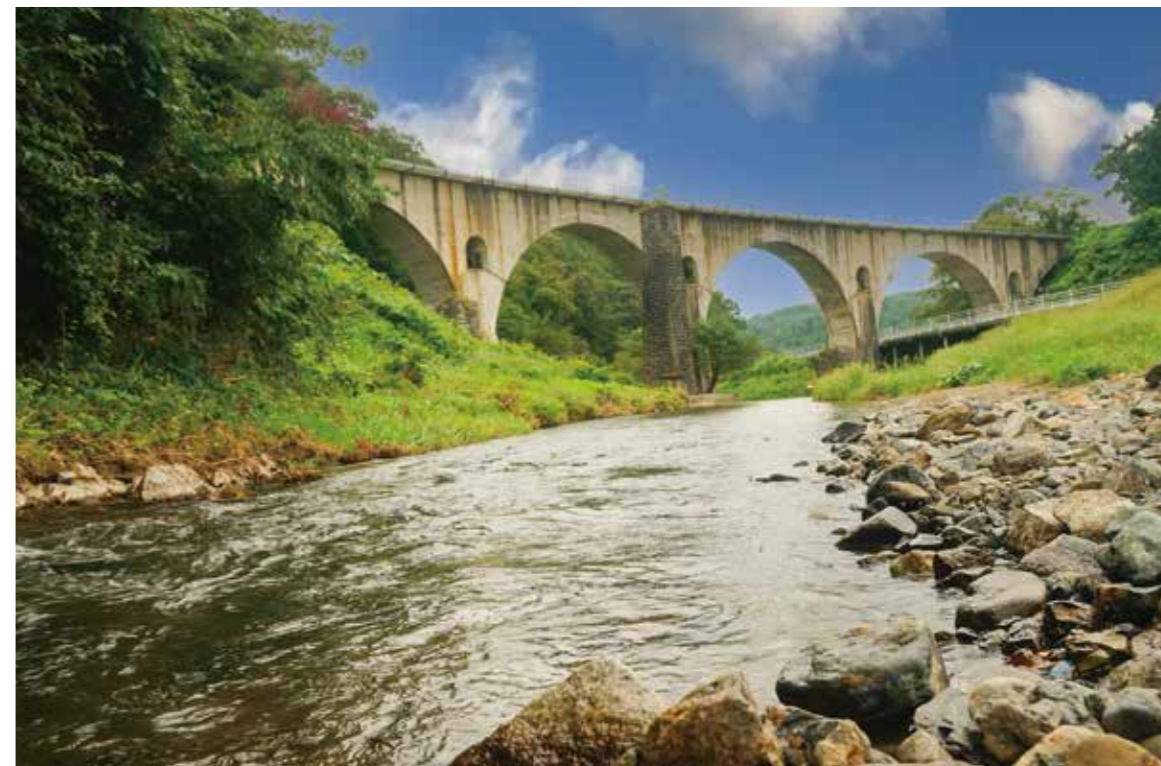
なお、ポスター中段にあるロゴは自作のもので、岩手に来てほしいとの願いから「おでつて」という言葉を
選んだ。また今回、駅にポスターを掲示するという設定から、色は鉄道線路から新幹線の緑と在来線の黒
を選んでいる。

最後に一言。

「なぜ岩手に来ないんだ！」

制作時間：三時間半

使用ソフト：Illustrator、Photoshop



かつて僕が見た景色
もうどこにもないと思った景色

心が動いたその刹那、体はカメラを構えていた
(遠野市：めがね橋)

O D E T T E
I W A T E

岩手広告ロゴ試作集

モノクロ版

カラー版

ODETTE
IWATE

ODETTE
IWATE



ODETTE
IWATE

ODETTE
IWATE

ODETTE
IWATE

ODETTE
IWATE

四、自分雑誌広告

自分を就職希望先の社長へ向けてアピールするならば？
雑誌の一面広告に想いを乗せて・・・

不屈の魂



そんな無数に湧き出る出来事の中から

「真実に至る」なんてそんな簡単なことじゃない

だから片っ端から調べる、何回も足を運ぶ

決して消えない熱意を持って追い続ける

小さい頃から目標に向かってガムシヤラに走ってきた

今日も私は走り続ける

これがオレさ、よろしく頼むよ

キザな見出しに似合わないブ男が出てきてしまい申し訳ない
だけどしようがない、
これがオレの素であり強みなのだから
想定先の企業様は新聞社
粘り強く取材を続けて事実を見つける
その諦めない姿勢を

「ガムシヤラに走る姿」

に照らし合わせた
中学・高校の部活動で陸上部だった面影を写真から感じ取ってくれと嬉しい
改めまして
「私こんなものです、よろしくお願いします。」

制作時間：四時間

制作ソフト：Illustrator, Photoshop

自分雑誌広告 試作集



私たちが生きていくこの瞬間にも何が起きているか、
いいことも悪いことも感じているはずなのに、
大小関係なく、何が起きているか、
無数に書き出す出来事の中から、
「真実を知る」ための公開な記事を書く
私たちが目にする出来事の大半は結果
結果から真実を知るには過程や背景を知らなくてはならず、
だから資料がないと片手落ちになる。
当事者の思いを聞きとって、その瞬間も足を運ばず
事実を伝えるためにも何回も取材記事を書く
興味関心、時には熱意を持って追いつけること
これが一番大事なのだと思います。
小さい頃から目標に向かって走り続けてきた
夢を、希望を、単なる出来事を面白くなくため
今日も走り続ける。
待っている。
今に追いついていきます。



私たちが生きていくこの瞬間にも何が起きているか、
いいことも悪いことも感じているはずなのに、
大小関係なく、何が起きているか、
無数に書き出す出来事の中から、
「真実を知る」ための公開な記事を書く
私たちが目にする出来事の大半は結果
真実を知るには過程や背景を知らなくてはならず、
だから資料がないと片手落ちになる。
当事者の思いを聞きとって、その瞬間も足を運ばず
事実を伝えるためにも何回も取材記事を書く
興味関心、時には熱意を持って追いつけること
これが一番大事なのだと思います。
小さい頃から目標に向かって走り続けてきた
夢を、希望を、単なる出来事を面白くなくため
今日も走り続ける。
待っている。
今に追いついていきます。

あとがき

一日一日があつという間に過ぎた三ヶ月間でした。
人生の中でここまで密度が濃かったのは初めてだったかもしれません。
ここに来たいと思った一番最初の動機は「**自分を表現する術を身につけるキッカケになったらしいな**」というものでした。
自分の気持ちや考えを前に出す事に嫌気が差していた退職直前の時、グラフィックデザイン科応募ポスターはまさに「**今の自分の理想像**」でした。
あれから三ヶ月、最初の動機は・・・達成出来てないと思います。
当たり前です、画家や著名なデザイナーみたいな私のデザインの志向が決まる訳がないんですから。

でも
「頑張った分だけ報われる」
「同じ目標に向かって仲間と協力する」
この二つの尊さと、楽しさを得る事が出来ました。

これからは自分で乗り越える番、社会へ還元する番になります。
思い通りに行かない今を楽しんで、牛の様に遅くとも確実に歩んでいきたいと思います。

Special Thanks

- まちゃさん
- えみ姉さん
- さやか先生
- GD12 のみんな
- 遠野高等職業訓練校



KUDO HIROYA